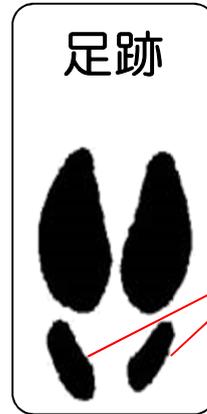


参 考 资 料

■ シカの痕跡「足跡の違いと獣道」

「シカとイノシシの足跡」



蹴爪痕(副蹄)は残らない事もある



左：シカ 右：カモシカ
福田 史夫 氏 提供

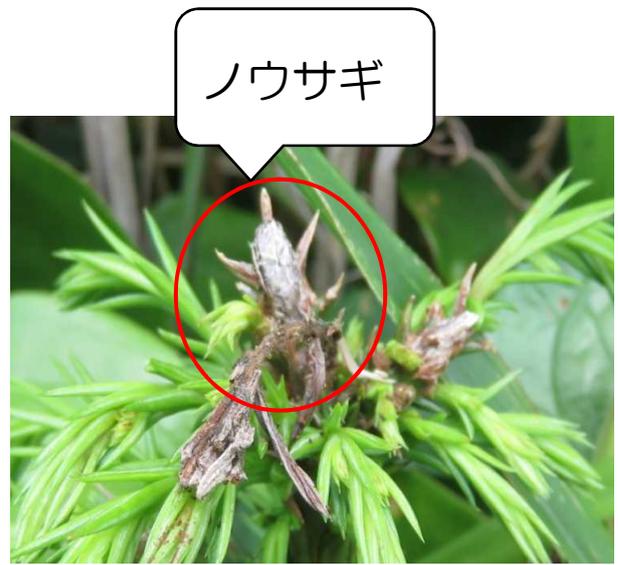
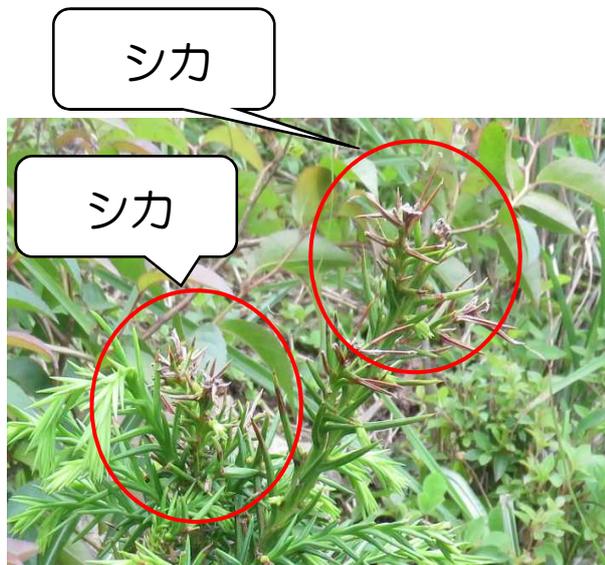


「獣道」



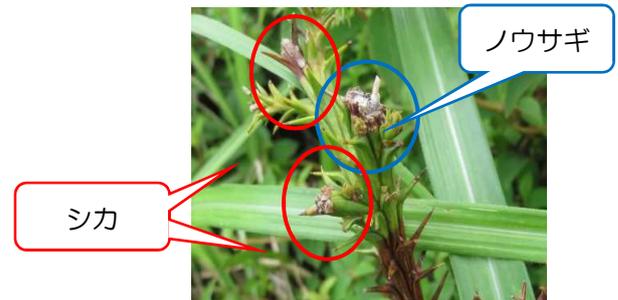
獣が通るため、草などがほとんど生えていない。
→食痕や糞の他に足跡も見つかる。

■ シカの痕跡「食痕の違いと糞の違い」
「シカとノウサギの食痕」



繰り返し食べられるため、木が育たない。
引きちぎられたような食痕が残る。

刃物で切断されたような食痕が残る。
シカとノウサギによる二重の食害を受けることもある。



「シカとノウサギの糞」



糞の形は俵状または球形。大きさは性別や年齢によって異なる。



糞の形は円形。
夏は黒く、冬は褐色になる。

■ センサーカメラ

センサーカメラは、センサー範囲内における野生鳥獣等の動作等に反応して、自動的に静止画像や動画を撮影するカメラです。機種によって機能は異なりますが、一般的には、昼間はカラー、夜間は赤外線によるモノクロ画像で撮影されます。



センサーカメラを使用することで、シカの行動を確実に把握することができます。

シカの餌付け具合がわかる



錯誤捕獲を事前に回避することができる



※カモシカが見られたら、場所を変更する。

（参考文献）

- 哺乳類による森林被害ウォッチング■加害動物を判定するために 農林水産省森林総合研究所鳥獣管理研究室ほか（1992）
- 農林業における野生獣類の被害対策基礎知識ーシカ、サル、そしてイノシシー 農林水産技術会議事務局ほか（2003）
- 和歌山県林業試験場業務報告No.70 2012年度（平成24年度） 和歌山県林業試験場（2013）
- くくり罠を用いた高捕獲効率及び連続捕獲を可能とした誘引誘導型捕獲法の開発 森部絢嗣（2013）
- 森林管理者が行うシカ対策の手引き 株式会社野生動物保護管理事務所（2014）
- 和歌山県林業試験場業務報告No.71 2013年度（平成25年度） 和歌山県林業試験場（2014）
- 農林水産業競争力アップ技術開発 研究成果集 和歌山県農林水産部（2015）
- 和歌山県林業試験場業務報告No.72 2014年度（平成26年度） 和歌山県林業試験場（2015）
- 和歌山県林業試験場業務報告No.73 2015年度（平成27年度） 和歌山県林業試験場（2016）
- シカ捕獲ハンドブック くくりわな編 2016年度（平成28年度） 静岡県農林技術研究所 森林・林業研究センター（2016）
- 和歌山県林業試験場業務報告No.74 2016年度（平成28年度） 和歌山県林業試験場（2017）

本研究は、和歌山県農林水産業競争力アップ技術開発事業により実施しました。

この捕獲技術の開発にあたっては、岐阜大学森部絢嗣氏の誘引誘導型捕獲法を参考としています。



編集・発行

和歌山県林業試験場

〒649-2103 西牟婁郡上富田町生馬1504-1

TEL : 0739-47-2468 FAX : 0739-47-4116

平成31年(2019年)2月 発行